

『あめ、あめ、雨のほん』

タイトル	著者名	出版社	出版年	ラベル
みずちゃぼん	新井 洋行/さく	童心社	2011.6	あ/E/ミ
水がひとしずく、ぴしゃ！ つぎつぎと、ぽと、ぽた、ぴしゃ！ いきおいよく、どっぼーん！ 姿形を変える表情豊かな水と擬音の響きが良い、五感を使って楽しむ赤ちゃん絵本です。				
はっぱのおうち	征矢 清/さく 林 明子/え	福音館書店	1985.4	NY/E/ハ
女の子がはっぱのおうちで雨やどりをしていると、虫たちもつぎつぎとやってきました。こんな雨宿りが出来るのなら、突然の雨も楽しみになりそうです。				
あめこんこん (ちいさいモモちゃんえほん)	松谷みよこ/文 武田美穂/絵	講談社	1995.6	S/E/チ
まっかなかさとまっかなながぐつを買ってもらったモモちゃんは、お庭で雨降りごっこをはじめました。♪あめこんこん ふってるもん♪という歌に心が弾みます。				
おじさんのかさ	佐野 洋子/作・絵	講談社	1992.5	E/オ
大切な傘がぬれるから、雨が降っても傘をささないおじさん。ところが公園で子どもたちが話しているのを聞いて…。雨の音色が魅力的な、傘をさして外へ出かけたくなる絵本です。				
雨、あめ	ピーター・スピアー	評論社	1984.6	E/ア
文のない絵本です。レインコートを着て大きな傘を持った姉と弟が雨に濡れた庭の様子を見て回ったり、家の中から眺めたり。雨の日ならではの楽しさ、美しさが描かれています。				
みずたまレンズ	今森 光彦/さく	福音館書店	2000.6	E/ミ
雨が降ると花や葉っぱの上についている水玉。水玉のむこうに何が見えるのか、ちいさな虫になったつもりでのぞいてみよう！ 雨上がりが楽しみになる写真絵本です。				
雨がふったら、どこへいく？	ゲルダ・ミュラー/さく いとう なおこ/やく	評論社	2007.5	E/ア
野原を飛ぶちょうちょやトンボは、雨がふったらどこへいくか知っていますか？ 雨降るとうれしくなるどうぶつはなんでしょう？ 自然を感じる科学絵本です。				
おみせやさん	かどの えいこ/ぶん たばた せいいち/え	童心社	1992.9	E/オ
外で遊べないのでつまらない雨の日。男の子はおみせやさんごっこをしようと思いつきました。するとお客さんがやってきて…。雨の日のファンタジー絵本です。				
青い花 (「安房直子コレクション 2」に収録)	安房 直子/作	偕成社	2004.4	F/ア
小さいかさ屋の主人は水色の服を着た女の子に、とてもすてきな青いかさをつくってあげました。すると、そのかさは町中で評判になり…。				
雨がしくしく、ふった日は	森 絵都/作	講談社	2013.4	F/モ
雨がふるたび「しくしく」と誰かが泣いている音が聞こえてきます。気になってしかたないくまのマーくんは、泣き声の主をさがしに、お外へ散歩に出かけました。				
空の絵本	長田 弘/作 荒井 良二/絵	講談社	2011.10	E/ソ
雨が降ってきたところから始まるこの絵本。一日の空の変化が描かれています。読み終わると、空を見上げたくなくなるはずです。				